

こうよう 紅葉の話

13 日 11 月 22 年

ソン・デービス

昔々、山上の木に住んでいる精霊がいました。名前は紅葉^{もみじ}でした。彼女は葉をドレスのように纏っていて美しいですが、いつも悲しそうでした。話す人がいなかったなので、だんだん寂しくなってきました。

ある日、山に嵐が吹き荒れました。雷が山に落ちて地面に火をつけました。翌朝、紅葉^{もみじ}は地面に寝ている誰かを見つけました。起こすために紅葉^{もみじ}は彼の体に触れましたが、彼の肌はとても熱かったので、紅葉^{もみじ}は叫びました。彼は目を覚ましました。

紅葉^{もみじ}が名前を聞くと「炎^{えん}」と返事しました。

炎^{えん}は「なぜ俺はここにいる？なぜ生きているの？」と聞きました。

紅葉^{もみじ}は「私にも分かりません。一緒に人生の意味を探しませんか」と答えました。

そして、二人は湖で泳いだり、平原で踊ったり、海辺で夕焼けを見たりしました。楽しかったですが、紅葉^{もみじ}のドレスの葉は脆く、炎^{えん}の肌に触れられませんでした。

夜になって急に雨が降って来ました。炎^{えん}にとって雨は危なかったです。避難所を探しましたが、何も見つけられませんでした。雨が痛すぎて炎^{えん}は倒れこんでしまいました。紅葉^{もみじ}は自分の体で炎^{えん}を守ってくれましたが、酷く火傷しました。彼が彼女にとって、人生の中で唯一のものだったので、痛みに関わらず彼女は守り続けました。すぐに紅葉^{もみじ}も倒れこんでしまいました。

翌日、二人の体から紅葉^{もみじ}の焼けたドレスのような赤い苗木が生えました。だから毎年秋、雨が降る時、紅葉^{もみじ}と炎^{えん}の思い出のために木々が赤く色づきます。

Character Count: 599

Character Count with Furigana: 646

Reader Notes :

- 紅葉 refers to the colors of changing leaves in Autumn
- 紅葉 has two spellings, こうよう (Kouyou) and もみじ (Momiji); therefore the title lends itself to a double meaning, simultaneously telling the story of Momiji while explaining the changing colors of Autumn
- 炎 means flame or blaze, and can also refer to “emotional” flames, such as intense feelings of love and other passionate emotions
- 炎 can also be spelled differently; ほのお (Honoo) and えん (En), with えん referencing ^{えん}縁 which means fate or destiny (especially as a mysterious force that binds two people together)

There is also an English version of the story which can be shared if the reader is interested (if so, please contact me).